

あ　と　が　き

国際環境整備研究委員会の海外調査団派遣も5回目になりました。今回の訪問先は台湾と決まったことから、現地に強いタクマの玉出さんに実行委員長をお願いし、準備はまかせっきりでした。訪問先のアポイント取りでも直前に先方からキャンセルがあったりして随分ご苦勞をおかけしたと思います。また以前に国際環境整備研究委員会の仲間であった川崎重工の古城さんと荏原の荘さんが現地駐在されていたことから、これらの人脈も大いに活用させていただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

今回の調査の主目的は台湾におけるPFIの先行事例を学ぼうというものでした。台湾における廃棄物処理の分野ではBOT、BOO等によるPFI化がよく普及し、すでにごみ処理能力が発生量をオーバーするくらい施設整備が進んでいます。一方、下水道は今からまさにPFIで整備しているという段階のようです。参加メンバーは先人の味わったであろう苦勞と成果に感嘆するとともに、今後自らPFIを展開する上で多くの貴重なヒントを得たと思います。

台湾では4日間とも台北のホテルに滞在し、ここを拠点に訪問先との間を行ったり来たりしたわけですが、鹿草への往復で飛行機が大幅に遅れたくらいで、大きなトラブルもなく順調にかつ効率よく旅程をこなすことができました。また古城さん、荘さんの案内で美味しい中華料理に舌鼓を打ちながら紹興酒を酌み交わして台湾の夜を楽しんだことは言うまでもありません。

2年前に家族で台北に来たときの記憶を思い起こしながら、小龍包の美味しい店や、お土産のお茶屋さんにメンバーを案内したりしました。足つぼマッサージでは人の弱み（急所）に付け込み高い漢方薬を売りつけるような新手の商売にであったりもしましたが、総じて団長のもとに高齢者組も若手組もメンバー全員がよくまとまり楽しい視察ができたと思います。これを機会に今後もお付き合いのほどよろしく申し上げます。

社団法人 日本環境衛生施設工業会
国際環境整備研究委員会 副委員長
調査団 副団長 長田 守弘